

子育て支援グループ活動報告

一、はじめに

本報告では、甲南大学人間科学研究所と甲南大学心理臨床カウンセリングルームの共催で実施された子育て支援グループにおける活動について報告をする。子育て支援グループ活動では、「親子相談」「うりぼうくらぶ」「子育てサークルまつぽっくり&プレイグループどんぐり」といった活動を実施しており、それらの詳細は次のとおりである。

二、親子相談

「親子相談」は、就学前の子どもをもつ保護者を対象とした個別相談である。毎月第一・三水曜日の午前中に設定しており、必要に応じて対応している。

三、「うりぼうくらぶ」

「うりぼうくらぶ」は、毎月第二・四水曜日の午前中に開催している。対象は、就学前の子どもと保護者である。うりぼうくらぶは、育児相談の場や子ども遊び場、保護者の交流の場等として活動している。スタッフは、本大学心理臨床カウンセリングルーム相談員と幼稚園教諭・保育士有資格者、子育て経験者を含む、計三名である。活動は、絵本の読み聞かせや手遊び、親子ふれあい遊びなど、親子が一緒に楽しく過ごせるような内容の設定遊びである。また、季節を感じられるような製作や家庭でも実践できる体操等も行う。本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での活動を一定期間中止した。そのため、親子が家庭でもうりぼうくらぶを楽しめるよう「オンラインうりぼうくらぶ」として、紙芝居や手遊び、体操などの動画を作成し、八月に配信した。また、同時期には、親子が家庭で製作できるうちの材料と相談活動の案内を送付した。十一月以降、対面での活動を再開するが、新型コロナウイルス感染症の対策として、人数を制限し、時間を二部制（一部十時半～、二部十一時半～）にして実施する。

四、まつぼっくり&どんぐりグループ

「まつぼっくり&どんぐりグループ」は、保護者が育児に関する学びや非日常的体験を通してリフレッシュし、育児ストレスの軽減や子どもと関わる力を高めることを目的に開催している。対象者は、地域の子育て中の保護者である。

本年は、十二月の水曜日午前中（十時半から十二時）に二回開催する。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の親子が家庭で過ごす時間が増え、そのことによる育児ストレスの高まりや育児の悩みを他者に相談しにくい状態が続いていることが考えられる。そのため、保護者が育児について自由に語る機会を設ける予定である。

五、おわりに

本年は、新型コロナウイルス感染拡大の中、可能な形態を模索しながら活動を再開することができた。今後は、対面とオンラインの特徴を活かし、子育て家庭のニーズに応じて、子育て支援の充実化を図っていきたい。

（岩本 沙耶佳）